

アンケート調査結果報告

令和2年4月から6月にかけて空知中部広域連合と合同で行った「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」にご協力いただき、ありがとうございました。同時に実施した浦臼町独自調査の結果を今月から3回に分けてお知らせいたします。[長寿福祉課 介護福祉係]

1. アンケート概要

対象者：町内にお住まいの令和2年2月末日時点で65歳以上の方（要介護1～5の方は除く）

調査方法：郵送による

配布数：644（前回2017年度 656）

回収数：439（前回 424）

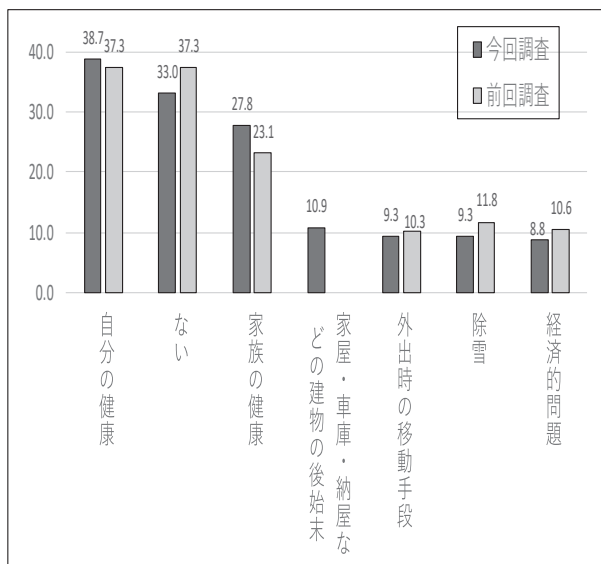
回収率：68.17%（前回 64.6%）



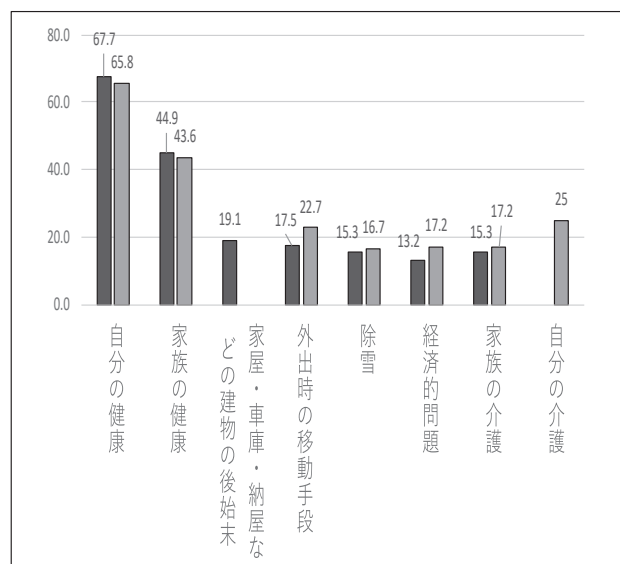
2. アンケート回答の考察

問1 生活の困りごとについて（5つまで選択）

（1）現在の困りごと（%）



（2）今後の困りごと（%）

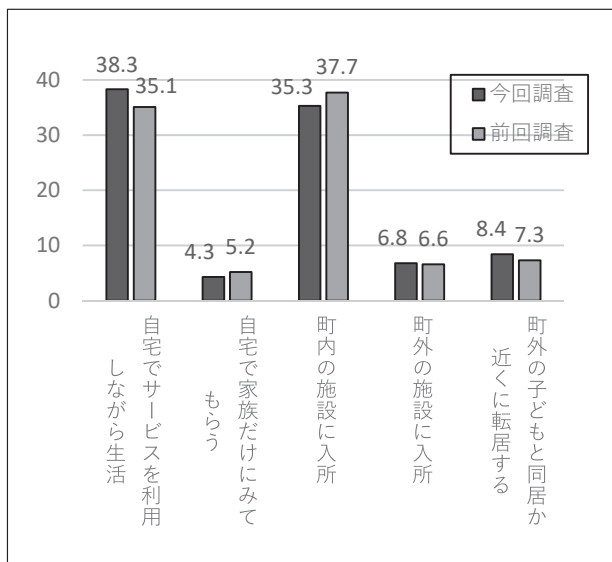


主だった回答をパーセント化しグラフに示しました。前回調査と比較すると、現在の困りごととして多い内容はあまり変わっていませんが、「ない」と回答された割合は減少し、「家族の健康」と回答した割合が増加しています。今回の調査では、どの年代も自分や家族の健康問題への困りごとが多い状況にあり、年代が上がるにつれ、「自分の健康」を困りごととしている割合が高くなっていました。年代別では、60歳代、70歳代は「なし」が多く、80歳代、90歳代になると「外出時の移動手段」や「除雪」、「屋外作業」が上位に入ってきています。また90歳代は「緊急時の対応」「住宅の問題」「相談相手」「屋外作業」「買い物」「ごみ出し」「制度やサービス」について他の年代と比べて選択している割合が高い状況となっていました。「買い物」については、前回調査の8.1%から3.0%に減少していました。「家屋・車庫・納屋などの建物の後始末」の項目は今回新たに設けた項目ですが、自分や家族の健康に続く困りごととして多い結果となっていました。

今後生活をしていく中で不安に思うことは、右上のグラフのとおり、自分や家族の健康と回答した方が多く、80歳代、90歳代がとくに多い結果となっていました。「家族の介護」についても、特に高

高齢者のみの世帯が不安を強く感じていると考えられます。「外出時の移動手段」は3%減少、「ゴミ出し」は2%減少していました。年代別では、70歳代を過ぎると「除雪」、80歳代を過ぎると「外出時の移動手段」が上位を占めています。特に女性では、「外出時の移動手段」や「除雪」など自分だけでは解決できない問題に不安を感じている方が多い結果となっていました。

(3) 支援が必要となった時にどうしたいか (%)



今回の調査では、男女とも、自宅での生活を希望されている方が一番多く、4割近くいました。男女別で差が大きかったのは「町外の子どもと同居か近くに転居する」で女性が多い結果となり、男性は、施設を希望されている方が多い結果でした。

年代別にみると、自宅での生活を希望する割合は年齢が進むにつれ下がり、70歳以上での施設希望者は、70歳代45.5%、80歳代51.7%、90歳代60%と年齢が進むにつれ高くなっていました。

前回調査との比較では、自宅での生活を希望する方が増えていました。

また、今回の調査では「自宅でサービスを利用しながら生活をしたい」「自宅で家族だけみてもらいたい」「浦臼町内の施設に入りたい」を合わせると80.9%を占めており、浦臼町内での生活を望まれている割合が高い結果となっていました。

「町外の子どもと同居するか近くに転居する」と回答した割合は、前回調査時よりも多くなっていました。町外への引っ越しを検討している方は、今後の生活で健康問題をはじめ、除雪や緊急時の対応、買い物等に不安を感じている方が多い結果となっていました。

(4) 自宅で生活していく中で有料であっても利用してみたい、ボランティアやサービスについての自由記載

「食事のサービス、支度」「買い物」「掃除」「入浴」「除雪」「草取り、草刈」等が記載されていました。また、「通院時の送迎」「車の運転ができなくなったときの移動」等移動手段についての希望も出ていました。

浦臼町の介護保険制度以外の高齢者等支援サービスのご紹介①

- 1、除雪費用助成～昨年度から制度を利用できる対象世帯を広げています。助成上限額5万円。
詳しい内容は、今月の全戸配布チラシをご覧ください。
- 2、緊急通報装置の設置
ボタンを押すと消防につながる装置を固定電話に接続し、急病等の緊急時にそなえます。
対象：ひとり暮らし高齢者、高齢夫婦世帯、障がい者や持病で機敏に行動することが難しい方

<問い合わせ先> 浦臼町保健センター内地域包括支援センター（長寿福祉課介護福祉係）

電話68-2288